

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 1 月 16 日

公表:令和 6 年 1 月 17 日

事業所名 放課後等デイサービス 青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	・利用人数が多い時は、室内遊び、外遊びと分けて支援を行っている。	・スペースは適切であるが、年齢と共に狭くなっている。使っていない部屋を有効利用していく。
	2	職員の配置数は適切である	13	0	・送迎担当の職員を増やし、子どもの人数等に応じて、施設に資格のある職員が残れるようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	9	・完全バリアフリーではないが、スムーズに移動ができるように配慮している。	・玄関に段差があるので、必要な子は職員がついて介助する。 ・建物の構造上仕方ないことはあるが、小さな段差等、フラットにすることは可能であると思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	0	・職員会だけでなく、子どものいない時に話をしている。	・各々がやらなければならない業務をしっかりと把握し、計画を立て、責任を持って業務を遂行すべきであると思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	1	・要望に応じて可能な限り対応している。 ・アンケートを毎年実施し、より良い療育につなげられるように努力をしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0	・ホームページを通して毎年公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	6	・第三者評価(市役所)で指摘されたことを中心に改善策を話し合っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	・年に一度以上の外部研修への参加を義務としている。	・正規職員だけでなく、パート職員でも参加できる研修があると嬉しい。学ぶ機会(外部)が欲しい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	1	・日々の支援や保護者の方と会う機会にニーズや課題を把握できるようにしている。 ・各分野(児発・保・児)等の意見を基にして計画を立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	1	・固定化されたツールを使って把握に努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	・クラスごとの職員で、プログラムの立案を行っている。	・日常的にコミュニケーションを積極的にとり、会話の中からもヒントを得ていくとより良い立案ができると思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	1	・休日、長期休み等は、外出支援やイベントを企画し、プログラムが固定化しないようにしている。(農園作業、歌声集会、クリスマス会等)	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	4	・前日に職員同士で話し合い、支援の内容を決めている。 ・行事に向けて長期的に計画を立てている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	1	・子どもの成長段階にもよるが、多人数でも遊べるよう、計画を立てている。 ・子どものニーズに合った計画を実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	2	・毎日の朝礼、月一の職員会議等で、その日、その時話し合うべきことや確認すべきこと等、全員で共有している。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	・支援終了後、その日気になった子どもの行動や言動等、振り返り共有し、明日以降の支援につなげている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	・利用記録を記し、それをもとにモニタリングの材料として使用して改善につなげている。	・ミスや勘違いが生じないよう、写真を撮影確認・共有している事項があるが、徹底できていないことも見受けられる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0	・6か月に一度モニタリングを行い、計画の見直しを常に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	12	1	・基本活動を組み合わせ合わせて支援を行っている。 ・ガイドラインに沿って支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	・担当者会議には、普段子どもと関わっている児発管が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12	0 (無回答)	・月の行事、下校時間について、適宜連絡を取り合っている。 ・保護者だけでなく、学校の先生とも密に連絡を取り、トラブル発生がないように努めている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	4	・幼保と直接連絡を取ることはないが、相談員さんと保護者を通じて情報共有を行っている。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	3	・保護者を通じて検査結果をもらい、支援の参考にしている。 ・市の開催する研修に参加している。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	8	・外遊び等の機会に、地元の子どもの交流をしている。	・ココニコなど他児と交流できるような場所へ行き、活動できるよう計画を立てていきたい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	5	・代表が参加している。	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	・利用記録や送迎時、担当者会議等、保護者と関われる機会を逃さず、悩みに傾聴し、共通理解のもと支援にあっている。	
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	6			
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1	・契約時に細かく説明し、支援については、捺印をもらう際にしっかりと説明している。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	・利用記録、送迎時、LINE等を通じて助言・支援を行っている。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	13		・ケースバイケースの為、要望があれば実施していく。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	・対応する委員会もあり、常に迅速に適切な対応が取れるような体制を整えている。 ・苦情があった場合、速やかに職員全員で情報を共有し、適切に対応している。	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	・定期的にお便り、ブログを通して情報を発信している。	
	34	個人情報に十分注意している	13	0	・個人を特定される情報が写らないように写真を撮るなど、慎重に対応している。 ・書類の保管場所を決め、取扱いには十分に注意している。	

	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	・子どもや保護者の方に分かりやすく情報が伝わるように配慮している。 ・わかりやすい言葉、ジェスチャー、絵など対応している。	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	9	・行事がある時は、保護者や相談員さんに声をかけている。	・市民館が近いため、市民館を利用して地域の方と接触する機会を設けたい。 ・市民館等、地域の施設を利用させてもらっているが、招待する機会はまだない。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	0	・マニュアルの策定・周知をして、必要に応じて更新している。	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	・定期的(年に2~4回)に様々なパターンを想定して避難訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	・虐待防止委員会の設立、研修の実施している。	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	0	・入所時に説明し、個別支援計画に記載している。 ・マニュアルによって整備されている。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	・アレルギー検査表を提出してもらい、食事等の対応に努めている。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	・ヒヤリハットが発生した時には、報告書を作成し、職員全員で共有している。	